



POCO a POCO

(ポコ・ア・ポコ)

三和中央病院

発行人：塚崎 稔 発行所：長崎県長崎市布巻町165-1
TEL 095-898-7511・FAX 095-898-7588

<http://www.sanwa.or.jp>

印刷：昭英印刷有限公司 長崎市平野町13-13 TEL 095-844-0231

POCO a POCO (ポコ・ア・ポコ) とは…

ポコ・ア・ポコとは少しずつという意味があり、何事も少しずつ、徐々に良くなっていければなどの思いを込めてみました。



一般演題の様子

基本理念

安心できる、心暖まる医療

1. 私たちは誠実で親切な心をもって医療に従事します
2. 私たちは人権を尊重した良質な医療を提供します
3. 私たちは地域精神医療と地域ケアを実践していきます



災害支援シンポジウムの様子

「第16回日本内観医学会大会報告」

第16回日本内観医学会大会が平成25年10月12日に長崎大学医学部の良順会館にて開催されました。長崎大学病院精神神経科の小澤寛樹教授が大会長となり、三和中央病院院長の塚崎が準備委員長として企画しました。

今大会では、「精神保健における内観療法の展開」をテーマとし、内観療法の精神保健領域における活用、とりわけ災害精神医学との関連をとりあげました。「災害支援に内観の果たす役割」というテーマで災害支援シンポジウムを開催し、東日本大震災の現場で復興支援に携わっておられる先生方の貴重なご講演を頂きました。

当院では震災直後に長崎県の「心のケアチーム」に参加し、震災支援に宮城県の被災地へ赴きましたが、本当はこれから長期の心の支援が必要となってきます。震災から2年が経過し被災者の方々への心の復興としての「内観」が役立てられる可能性が討議されました。

一般演題では、塚崎が「内観的認知療法導入の試み」の演題で、当院のデイケアで行われている内観療法の実践を報告しました。その他、特別講演、一般演題、ランチョンセミナー、懇親会と盛会に大会は終了しました。

当院の内観療法は昭和58年に開始され、今年で30年となります。延べ1500名の患者さんに内観療法を行ってきました。これまで当院で内観療法が継続できたのもスタッフのおかげだと思います。

三和中央病院院長 塚崎 稔



コーポラス さくら並木

～新しい関連施設がオープンしました～

サービス付き高齢者向け住宅

コーポラス さくら並木

問い合わせ先 095-892-8822

介護老人保健施設 みどりの里内(原田・野口・小川)

第7回 看護研究発表会を開催しました

日頃の研究成果を発表し、多くの質問や意見を頂きました。今回の発表をより良い医療に繋げるために、自分に何ができるかを考える貴重な時間となりました。発表者の皆さんありがとうございました。

幻覚妄想を伴う高齢患者の看護 ～意欲低下している高齢患者へのアプローチ～



南2病棟 看護師
脇山 彩美

高齢者、幻覚妄想、意欲低下をキーワードとして、入院中の幻覚妄想を伴う80歳代女性への看護の実際、患者様の言行動の変化を振り返り、幻覚妄想状態の中でも、その人らしさを活かせるように、また意欲向上にもつながるように患者様自身の理解に努め、個別的なアプローチを実践していくことが大切であることを再認識した。今回の症例を振り返り、学んだことを今後の看護へつなげていきたいと発表。

デイケアにおける内観的関わり ～「ありがとうシート」導入後の経過～



リハビリ部 看護師
新原 恵美子

デイケアで心の健康シリーズと称し「ありがとうシート」を活動に導入して2年が経過した。ありがとうシートを継続することによる被愛体験や至福感とは者肯定感、自己肯定感へとつながり前向きな気持ちに変わって行く。リハビリを考える際、内観的思考による自己肯定感は非常に有効である為、今後も治療共同体として活動していきたい。

長期入院患者の精神疾患患者における 退院支援のかかわり



ひまわり病棟 看護師
内野 武寿

近年、精神科領域における退院支援は、入院中心の医療から地域支援へ移行していく事業が進められている。当院でも他職種が連携し、地域に目を向けて支援していく事業が主となっている。今回高齢で精神疾患を患っており、退院に向けて地域支援へと移行するまでの経過についての発表。

「退院してみようかな？」という日まで ～クロザリル導入から退院可能となるまで～



とまと病棟 看護師
原田 修治

強い副作用の訴えを繰り返していた患者様へ、服薬アドヒアランス^{※1}を実施し、自ら選択して服薬をするようになった。治療抵抗性統合失調症薬（クロザリル）が導入され効果が見られ始めたため、本人の思い描いていた退院を実際に計画し、実行できた症例を発表した。

※1 アドヒアランス：患者様が治療方針決定に参加すること

進行麻痺のある 40代患者へのアプローチ



南3病棟 看護師
神田 浩嗣

そしゃく・嚥下機能が低下し、誤嚥性肺炎を繰り返し、介護への抵抗も強く十分な援助が出来なかった40代患者様に対し患者様との関わる時間を増やし、また栄養士、歯科などの他職種と連携を図ったことで、発熱も減り、ADLの拡大につなげることができたことを発表した。



BLS 講習会を実施しています

医師や看護師でない職員も、突然の出来事に適切に対応し、医師や救急隊に引継げるようにBLS（一次救命処置）を勉強しています！！



ファイト～実習生！！



長崎市医師会看護専門学校（准看護師科）の学生が看護師を目指して当院にて実習を行いました。患者様のケアを通して、技術習得だけでなく、「安心できる心暖まる医療」を肌で感じられるような指導を目指しています。



～地域に向けて～ 認知症に関する情報発信

精神病院の敷居は、今でも意外と高いのかもしれませんが。精神科クリニックや心療内科に比べますと・・・。

そこで、当院の認知症医療を院外にわかりやすく発信する手立てを3つ考えてみました。まず、患者様用と認知症医療に携わるスタッフ用の2つのパンフレットが必要であると考え作成しました。2つ目は、さんクリニックでの認知症専門外来を始めること・・・。最後に、南部地区における認知症医療の地域連携のネットワークの強化です。

認知症サポート医をご存知でしょうか・・・。

地域の認知症医療を包括的に支援するために厚労省が認定した医療資格のひとつです。患者様のご家族が相談の窓口として地域包括支援センターを利用された際、センターは近隣の認知症サポート医に相談します。認知症サポート医は医療の側面から患者様をトータル的にマネジメントをするいわば交通整理の役割りを担っています。患者様の症状や取り巻く環境によって、かかりつけ医、物忘れ相談医、認知症専門医へ紹介します。

当院では、私が今年10月にサポート医の認定を受けました。物忘れ相談医、認知症専門医としての立場もいかながら、地域に向けての認知症に関する情報発信をしていきたいと思っています。



三和中央病院副院長
認知症サポート医
岩田 信之

南 2 病 棟



南2病棟は、精神科一般老人内科病棟にて、身体合併症により、長期臥床となった患者様のケアから終末期看護のケアが中心になっています。その他、認知症患者様の入院初期のケアから自宅または、施設入所に向けてのケアを主に行っています。スタッフ一同、QOLを低下させないようにするため、個々に応じた個別的アプローチを重視した看護の実践を心がけています。



部署紹介

北 2 病 棟



北-2病棟は認知症病棟(認知症病棟入院料1)です。認知症症状が見受けられる患者様で、自宅や他の施設での治療が困難な患者様に対し、問題行動を理解し生活機能回復訓練を主として入院治療を行い、生活機能の回復を図る病棟です。精神症状・行動異常が特に著しい重度の認知症患者様を対象として、急性期に重点をおいた集中的な入院医療を行い、身体的ではなく認知症による異常行動の対応や環境整備を主に治療を行っています。



CVPPP研修会 (包括的暴力防止プログラム)

トレーナーの認定を受けた看護師が中心となりCVPPPに取り組み、安全で効果的な介入技術を学ぶことで医療の環境や質の向上を図っています。現在、当院では4名がCVPPPトレーナーとして認定を受けています。



OT活動の様子



車イスの方も参加し元気に体を動かします

季節ごとの活動ではバスを利用し、ちょっと遠出をすることもあります。

他にもヨガ・eエクササイズ・調理・創作活動・カラオケも行っています。患者様の機能・病棟の特色に応じた活動を日々とりいれています。

年間行事予定

- 10月 おくんち見学
- 11月 紅葉祭り
- 12月 クリスマス会
- 1月 初詣
- 2月 節分(まめまき)
ランタン見学
- 3月 ひな祭り
- 4月 お花見

門松づくり
始めました~



NEW FACE!



11月に新しいスタッフが
仲間入りしました。
看護師 1名 看護補助者 3名

随時職員の募集を行っています。
詳しくは当院ホームページをご覧
頂か、
担当 佐々木まで
ご連絡下さい。



~第52回 病院親睦ソフトボール大会~ ☆地区優勝☆



作品介绍

OT活動での
患者様の作品です



「器」

● 編集後記 ●

今年の長崎の秋は台風の通過もあり、秋の風情を感じる間もなく過ぎ去ったような気がします。また、毎年恒例の"秋祭り"が開催されずさみしい秋でもありました。でも、来春に"春祭り"が開催される予定です。次号では特集を組んで楽しい様子をお伝えしたいと思います。

〈広報スタッフ一同〉

○三和中央病院ホームページでは、新着情報・学会報告・今後の予定などリアルタイムで更新しています。

詳しくはこちらまで→ <http://www.sanwa.or.jp>

三和中央病院



医療法人 清潮会 三和中央病院
診療科目：精神科・心療内科・内科・歯科
〒851-0494 長崎県長崎市布巻町165-1
TEL 095-898-7511・FAX 095-898-7588 E-mail: info@sanwa.or.jp

グループホーム ハートハウスさんわ
〒851-0403 長崎県長崎市布巻町72-1
TEL 095-892-8780・FAX 095-892-8780

医療法人 清潮会 さんクリニック
診療科目：心療内科・精神科
〒850-0842 長崎市新地町8-16 ミナトパークビル4階
TEL 095-895-8160・FAX 095-895-8161 <http://www.sanwa.or.jp/sanclinic/index.html>